

2017年度 環境活動レポート

(2017年2月1日～2018年1月31日)



発行日 2018年3月31日

 株式会社
いそのボデー

〒990-2226 山形市西越25番地
TEL 023-624-1711 FAX 023-632-0681
<http://www.isono-body.co.jp>


エコアクション21
認証・登録番号 0007795

環境方針

◆ 環境経営理念

私たち、いそのボデーは全人類が直面している地球温暖化問題を私たち自身の問題と認識し、多様なトラックボデーの開発設計・製造・メンテナンスに係る事業活動を通じ、長年培ってきた技術力を駆使し、環境面においても高機能・高付加価値のトラックボデーを開発製作して参ります。

また、エコアクション21環境経営システムの運用により、事業活動に伴う環境負荷の削減や閑居汚染のりすく低減を図って参ります。

◆ 環境行動指針

1. 環境関連の法律等を遵守します。
2. 省エネルギー活動を推進し、電力、化石燃料の消費に伴う環境負荷の削減に努めます。
3. 水使用量、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努めます。
4. 有害化学物質の使用量削減と適正管理に努めます。
5. 3S(整理・整頓・清掃)活動を推進し、作業効率の向上を図ります。
6. チョコ案(改善提案)制度の推進によって、環境改善活動の活性化を図っていきます。
7. ふるさと山形の環境保全活動に積極的に貢献していきます。

2017年2月1日

株式会社 いそのボデー

代表取締役 磯野 栄治

2.組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

- 株式会社 いそのボデー
- 代表取締役社長 磯野 栄治



2-2. 所在地

- 本社・工場 〒990-2226 山形市西越25番地

2-3. 環境管理責任者及担当者連絡先

- 環境管理責任者:生産技術・架装部部长 石井 崇
- 連絡担当者 :総務部長 本間 久美
- 連絡先・TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
- Email:kumi.h@isono-body.co.jp

2-4. 設立年月日

- 1964年(昭和39年)2月

2-5. 資本金

- 3,630万円

2-6. 事業活動の内容

- トラックボデーの製作
- 車検代行
- 自動車整備
- 自動車保険代行



2-7. 認証登録・範囲

- 全組織・全活動を対象としています。



2-8.事業の規模

事業年度	2015年度	2016年度	2017年度
事業規模の指標	(2015.2~2016.1)	(2016.2~2017.1)	(2017.2~2018.1)
売上高(百万円)	1,714	1,748	1,762
従業員数(人)	95	95	94
整備車両台数(台)	3,989	3,981	3,348

注)売上高、整備車両台数の実績は、当社会計年度(当月2月~翌年1月まで)による

いそのボデー環境トピックス 2017

第19回 山形県環境保全推進賞「山形県知事賞」受賞しました！

全員参加の「チョコ案」制度と3S活動で環境経営を実践

2011年に環境省が定めた環境経営システム「エコアクション21」を認証取得しました。業界認定の「新環境基準適合(通称:ゴールドラベル)」を取得し環境にやさしいトラックボデーを製造販売しております。「工場のショールーム化」を目指し全社員で取り組んでいる整理、整頓、清掃の3S活動とチョコ案(ちょっとした改善提案)に取り組んでおり、エコアクション21の取組が環境経営と一体化し、「作業効率向上と残業時間削減」にもつながりました。



2017年6月5日(月)山形新聞掲載記事より



山形県産【金山杉】で製作された賞状



県知事賞受賞 社長あいさつ



受賞式典会場にて

◆ 3S委員会活動 全社パトロール実施！



「すみっこ清掃」
棚などにキャスターを取付したことにより、移動するので隅々まで清掃します！



3Sパトロールで指摘事項を係に伝えます。
そこで改善を実行したら「チョコ案」で報告します！



◆ 全員参加の「チョコ案(改善提案)」活動

社員一人が月1件以上の提出100%を2014年5月から35ヶ月連続達成しています！
 これまで述べ1万3千件以上のチョコ案が出されています。
 また、年度末に年間表彰を行い、2017年は下記のチョコ案が社長賞を受賞しました。

今年も天井まで延びました！



【年度別個人のチョコ案グラフ】
 ☆2017年度は黄色



2017年 社長賞

チョコ案 こんな改善できました

部署	メンテナンス2係	氏名	峯田 学	日時	2017年 7月 25日	
分類	治具 作業効率 表示 美化 安全 経費削減 その他	NO.	17-8	総務部長	事務	所属長
改善前	キャブのドアミラー保護はマスキングペーパーで行っていた。					
改善後	余っていた景観シートで袋を作り、被せるだけにした。ペーパー不要・繰り返し使用可。					
コメント	ペーパーを使わない分、経費削減 被せるだけなので、時間短縮					
	年間コスト削減 一歩=1円 一砂=1.6円 一分=100円 マスキングペーパー50cm 20秒短縮					

様式=260改訂3

【2017年 チョコ案社長賞&エコで賞&横展開しましょう！】

毎月3S委員会で月間賞を投票で選びます。その中から年間の表彰に値するチョコ案を選定します。

今年の「社長賞」は、お客様からお預かりしているお車にキズ等をつけないようにするために、改善前はマスキングしてカバーして終了後は捨てていました。改善後は余っていた保護シートで袋を作り被せるようにし何回も繰り返し使用できるようにした、というチョコ案です。マスキングの時間の削減と毎回でるゴミの削減と経費削減によりエコで賞にも該当し全社に展開したいチョコ案になりました。

◆ 年度末に行われるチョコ案年間表彰

【月間賞受賞のチョコ案の中から選ばれます】



【年間表彰 社長賞授与の様子】



環境コミュニケーション

2017年11月に滝山小学5年生のみなさんが工場見学にいらっしやいました。



「トラックの
ボデー製造
過程」を説明



同じく、2017年11月に山形県環境保全協議会様が工場見学にいらっしやいました。



工場では、チョコ
案で出た様々な
改善をご覧
いただきました。

「環境に優しい
トラックボデー」を製造していま
す。



工場の照明はもちろんLED

弊社のボルト
棚は、先入れ
先出で、常に
新しいモノを使
用しています！

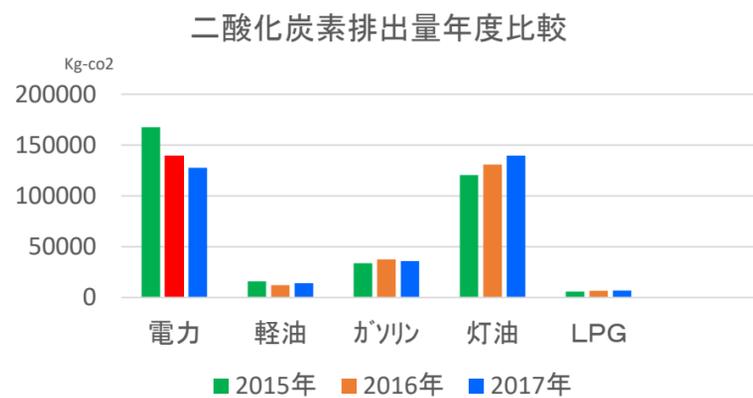


3.環境目標とその実績

3-1.環境負荷の現状と推移(環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

エネルギー資質	2015年度	2016年度	2017年度
電力	167,519	139,432	127,545
軽油	15,874	12,157	14,082
ガソリン	33,625	37,358	35,911
灯油	120,492	130,890	139,602
LPG	5,837	6,594	6,978
Co排出計	343,347	326,431	324,118



1) 当社における2017年度の二酸化炭素排出量は合計324tとなっており一般家庭(年間5.0tJCCA:全国地域温暖化防止活動推進センター)の64軒分の排出量に相当していました。また、2013年度(基準年度351t)と比較すると27t減少しました。一般家庭でいうと5.4軒分の減少となりました。

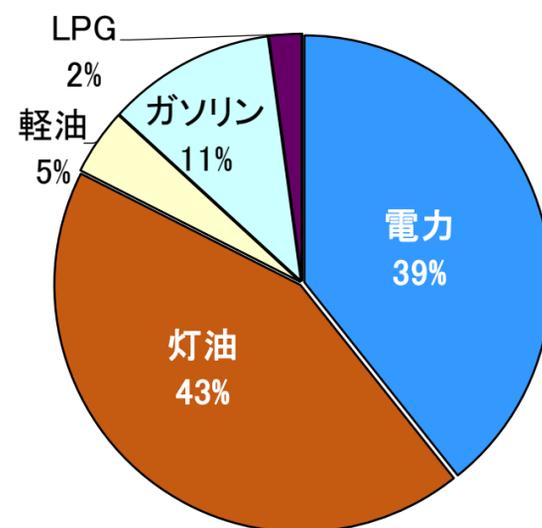
2) 2017年度に排出される二酸化炭素の61%は化石燃料に使用に伴うもので、その中でも灯油が43%を占めており残念なことですが昨年より6.6%増加してしまいました。

3) 灯油は、冬場の車体塗装作業時において、塗料の乾燥用に使用するほか工場や事務所の暖房用にも使用しています。今年の冬は例年になく-10℃以下の気温が続いたこともありまた。この寒さで工場の暖房器具を増やし寒さ対策などで使用量が増加したしまったと考えられます。

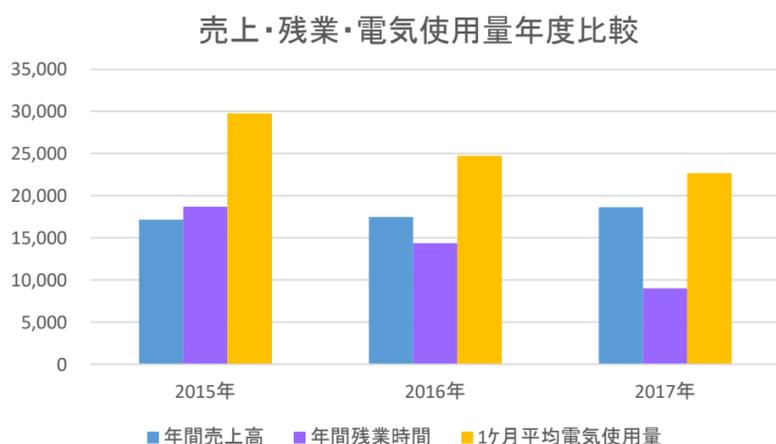
4) 灯油以外の化石燃料では軽油14t、ガソリンが35tとなっています。軽油はこの冬の大雪による除雪作業のために除雪車用に使用し増加したと思われます。

5) 電力の消費による二酸化炭素排出量は、127tで39%の割合になっています。2016年度と比較すると23.8%削減されました。これは2015年5月よりLED化したことや残業の削減により激減したと考えられます。

<二酸化炭素の排出源>



※電力の二酸化炭素換算係数は平成20年東北電力の数値(0.469)を使用しました。



☆2015年～3年間の売上高と残業時間及び1ヶ月平均電気使用量を比較してみました。

残業時間の大幅な削減及び電気使用量の削減と反対に売上高が好調であることは、経営環境に結びついていると言えます。

■ 産業廃棄物排出量

一般廃棄物は紙類(廃コピー用紙、段ボール類)がほとんどで、すべて再生利用されています。有価物である鉄くず、アルミくずを除いた産業廃棄物では、木くず24.9t、廃プラが20.4t、汚泥5.8t、廃油が7.5t、金属くずが1.6t、鉄くずが97.1tとなっています。廃プラは焼却処理または埋立処分、廃油、廃シンナーは焼却処分されています。再生利用しているのは、木くず、有価物(鉄くず、アルミくず)などで、リサイクル率は77.5%となっています。



■ 総排水量(水使用量)

年間の水の使用量は1,578 m³で、生活用水の他、洗車、高圧シャワー試験などで水を使用しています。

■ 化学物質使用量(購入量)

主に塗料の中に含まれるPRTR対象物質について、その購入量と含有率からトルエン並びにキシレン等の購入量を集計しました。最も多いのは、トルエンで1.9tキシレンは1.1tとなっています。塗装作業で使用されることから排出先は大気となっています。



3-2 環境目標項目の選定と目標設定の考え方

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、並びに環境方針との整合性を図り、次の7項目(山形エコアクション21対応項目を含む)について、環境目標(単年度目標&5年間の中期目標)を設定しました。

環境目標項目		単年度目標	中期目標
		2017年度目標 (2017.2※1~2018.1)	2013年度~2018年度(5年間)
二酸化炭素排出量	電力使用量	2016年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。
	化石燃料使用量	2016年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。
	社有車の燃費	実績把握	2018年度までに2016年度実績値の2%向上を目指す。
廃棄物排出量	一般廃棄物	2016年度比2%削減	2018年度までに一般廃棄物量を2013年度実績の10%削減を目指す
	産業廃棄物	2016年度比2%削減 リサイクル率60%以上とする	2018年度までに産業廃棄物量を2013年度実績の10%削減とする。またリサイクル率を60%以上とする
総排水量 (水使用量)		2016年度比1%の削減	2018年度までに2013年度実績の5%の削減とする
化学物質使用量	(PRTR対象物質)	2016年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す
	(特化則対象物質)	特化則対応品を確認し適用判断	2018年度内に主要19品目のうち、12品目の切替え適用
グリーン購入推進		2016年度比1%UP以上とする	2018年度までに2013年度実績値の10%UPを目指す。
製品・サービスの環境負荷削減に関する目標		社員チョコ案提出率100%	全社員チョコ案月1件以上提出を継続する。環境面で優れたチョコ案を「エコで賞」として毎年表彰する。
		バンボデー限定Java ゴールドラベル取得	・車体製品部材のリサイクル可能率95% ・車体製品部材の環境負荷物質フリー宣言
山形エコアクション21 対応目標		環境NPOの支援・協力	
		年2回(5月・10月)会社周辺の清掃活動を実施する	

3-3.環境目標達成状況

◆ 二酸化炭素排出量(電力使用)

(単位 kg-CO₂)

2016年度	2017年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
139,432	136,643	127,545	8.5%	◎



【目標】2016年度比 2%削減

● 取組の評価

二酸化炭素排出量(電力使用)は2015年5月に全社の照明をLED化したことにより2016年度以降はかなり削減できました。それと同時に残業時間の削減を全社を挙げて取組んだ結果、残業時間も前年度より37%削減につながりました。さらに削減できるよう継続していきます。



【事務所のLED】

◆ 二酸化炭素排出量(化石燃料)

(単位 kg-CO₂)

2016年度	2017年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
187	183	196	-4.8%	×



【目標】2016年度比 2%削減

● 取組の評価

二酸化炭素排出量(化石燃料)は昨年度同様の実績となり目標未達となりました。社有車に使用するガソリンは削減できたものの、例年がない冬の厳しい寒さと大雪のために除雪車に使用した軽油と暖房等にしようした灯油が増加してしまいました。

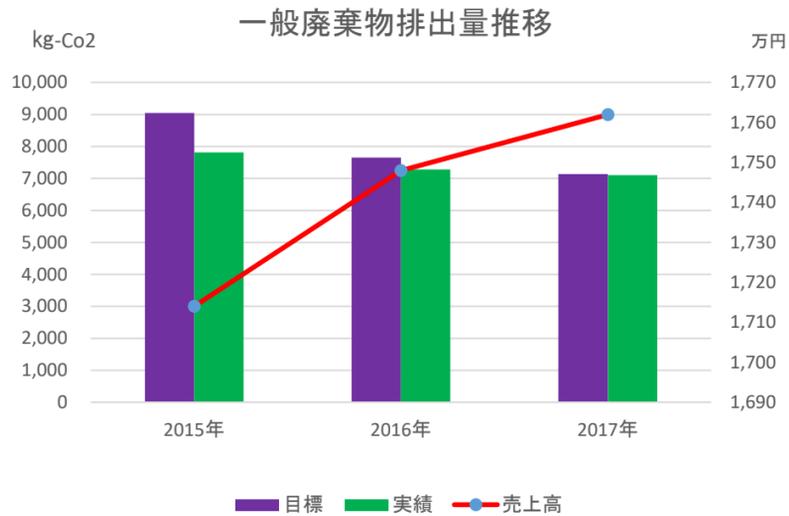


◆ 温室効果ガスの排出量がこのまま増え続ければ、地球の自然環境は大きく損なわれることになりかねません。それは、地球が長い時間をかけて育んできた環境を、人類がわずかな期間で壊してしまうということであり、何としても防がなくてはならないことです。多くの野生生物や未来の人々への影響をできる限り抑えるためには、「今すぐ」温室効果ガスを減らす取り組みを始めることが必要なのです。

◆ 廃棄物排出量（一般廃棄物）

(単位 kg-CO2)

2016年度	2017年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
7,280	7,134	7,100	2.4%	◎



【目標】2016年度比 2%削減

● 取組の評価

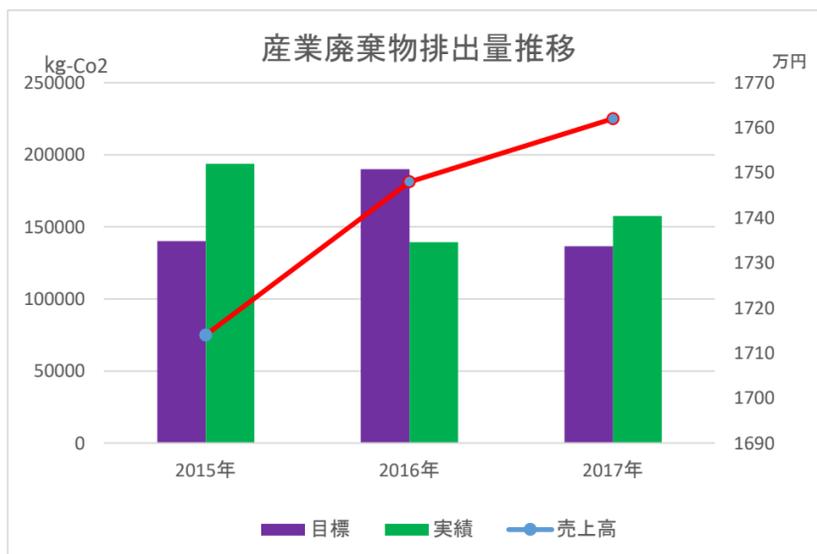
2017年度は目標を3kg削減し達成することができました。一般廃棄物排出量は主に梱包用のダンボールになります。また事務所で使用するコピー用紙等の裏紙使用や不要な紙類は専用の箱を設置し100%リサイクルに回しています。今後は工場内にも設置していきます。



◆ 廃棄物排出量（産業廃棄物）

(単位 kg-CO2)

2016年度	2017年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
152,112	149,070	157,568	21%	◎



【目標】2016年度比 2%削減

● 取組の評価

2017年度は目標を8,498kg増加しました。昨年は生産高の増加により廃棄物も増加したと考えられます。リサイクル率は77.5%と昨年より下がってしまいましたが、目標の65%を達成することができました。木くずが多く、すべてリサイクルされています。今後もしっかりと分別し維持していきます。



産業廃棄物	リサイクル率
2015年	66.9%
2016年	81.6%
2017年	77.5%

※「チョコ案」より

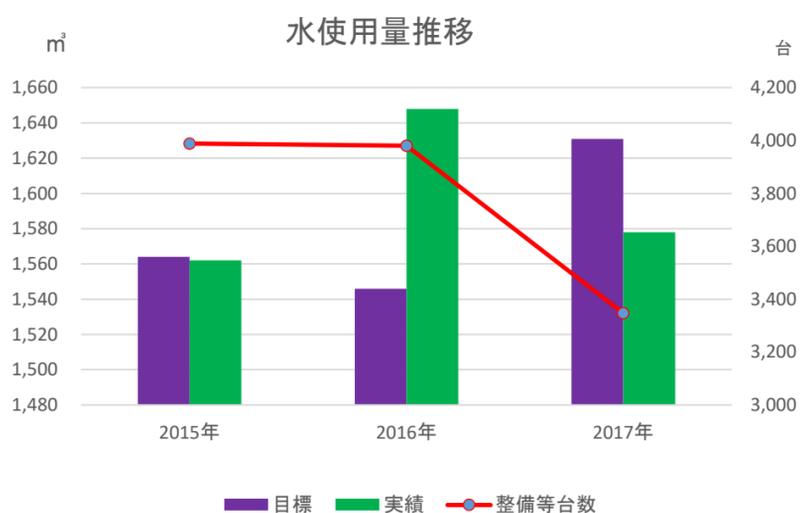


整理・整頓で探すムダがありません。不要な工具もありません。

◆ 水使用量

(単位 m³)

2016年度		2017年度		評価
実績	目標	実績	増減率	
1,648	1,631	1,578	3.2%	◎



【目標】2016年度比 1%削減

● 取組の評価

2017年度は目標を53m³削減できました。整備車両等の台数の減少に繋がっていると思われます。生活用水の他に製造前後の新車と整備車の洗車に使用されます。製造後のトラックボデーには水漏れがないかを自家製のシャワーテスト機を利用します。これは雨水及び水道水を使用します。テスト機のエア混合率を高め、水の使用量を抑えるようにしております。

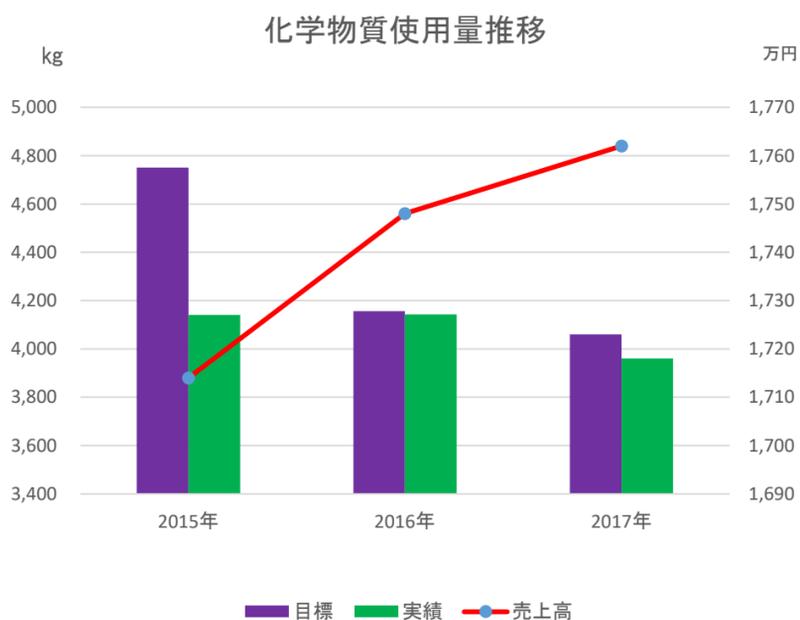


【オリジナル「シャワーテスト機」】

◆ 化学物質使用量

(単位 kg)

2016年度		2017年度		評価
実績	目標	実績	増減率	
4,143	4,060	3,959	4.4%	◎



【目標】2016年度比 2%削減

● 取組の評価

2017年度は目標を101kg削減で4%削減できました。(この数値は購入量となります。) 昨年より減少傾向にあります。車体塗装作業時の特化則対応の塗料を使用することで化学物質使用量の削減の取組を始めました。



【汚れない工夫をした塗装工場】



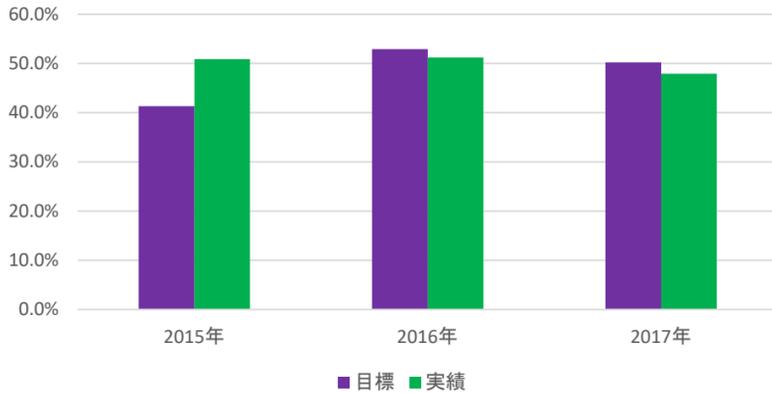
【塗装前のマスキング】

◆ グリーン購入

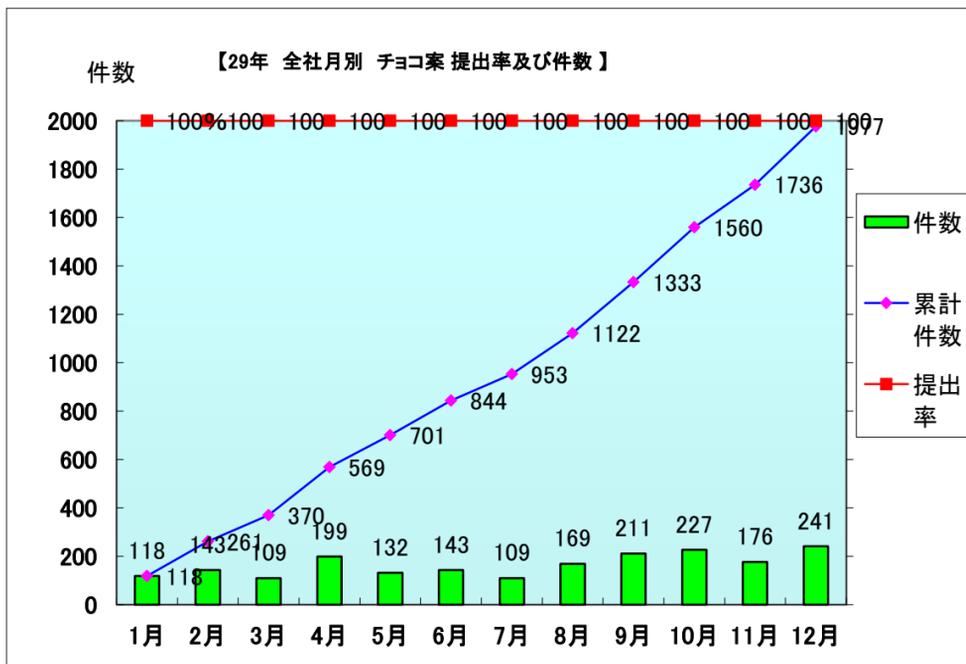
(単位 %)

2016年度	2017年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
51.2%	53.2%	47.9%	△3.3%	×

グリーン購入率推移



◆ 2017年度チョコ案提出率グラフ



【目標】2016年度比 2%以上UP

● 取組の評価

2017年度の実績は目標に対して△3.3%のUPとなりました。事務用品を対象とした購入率(金額ベース)ですが、購入率を上げることはなかなか難しいため現状維持取組を継続していきます。



【目標】全社員 月/1件以上提出する

2012年1月からチョコ案活動を開始し、2014年100%提出率を継続しています。



チョコ案 これはちょっとしたアイデアです！
「テプラテープを物に直にはると、剥がすときにうまく剥がれず大変でした。しかしマスキングテープの上に貼ってから物に貼ると、剥がすときにきれいに剥がれます」なるほど……

◆ 地域の環境保全(山形エコアクション21対応項目)

【目標】年2回(5月、10月)会社周辺の清掃活動を実施
平成29年5月と10月に毎年恒例の会社前の国道13号線から山形自動車道の側道付近のゴミ拾いを述べ人数180人が参加しました。ゴミ拾いだけでなく国道沿いの歩道の掃き清掃も行うようにしました。来年も実施します。



4.環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	取組の評価と次年度		
			評価	次年度	
二酸化炭素排出量の削減	■化石燃料の使用				
	1)灯油	* 暖房用:冬期間、事務所の室温を20℃を目安に管理する。 * 工場内:ジェットヒーターのスイッチをこまめにON/OFF	○	継続	
	2)軽油・ガソリン	* 車両日報を準備し、車両ごとの燃費や整備状況を管理する。 * エコドライブ研修会を実施する。	○	継続	
	■電力使用量				
	1)工場での使用	* コンプレッサー:毎月1回、エア漏れをチェックする。 * 照明器具:休憩時、無人の場合など、照明を消す * 電気使用機器全般:効率的な使用、こまめなON/OFF	○	継続	
	2)事務所での使用	* 事務所の室温を暖房時20℃、冷房時28℃を目安に管理する。 * 不要な照明は消すなど、節電を徹底する。 * PCを省エネモードに設定し、長時間席を離れるときは電源を落とす。	○	継続	
	廃棄物排出量の削減と適正管理	■廃棄物の排出			
		1)一般廃棄物	* 分別のルールを決め、そのルールを守る	○	継続
		可燃ゴミ・段ボール類	* 自販機から出たカンやペットボトルは、専用の回収容器に入れる	○	継続
		カン・ペットボトル	* 不要なカタログ、資料はなるべく持ち込まない。 * マイ水筒運動の展開	○	継続
2)産業廃棄物		* 産廃業者会社見学会	○	継続	
廃プラ・金属くず・廃油		* 廃棄物の種類ごとに可能な限り、分別を徹底する。 * マニフェスト管理を徹底する。 * 産業廃棄物保管場所の5S管理の徹底。	○	継続	
水の削減	■水道の使用	* 手洗器水栓の吐量の適正化 * 洗車時の節水協力要請	○	継続	
化学物質削減関連	■化学物質の使用	* 特化則・PRTR法に対応するアイテムへの転換	○	継続	
グリーン購入	■事務用品の購入	* 事務用品の発注時は、エコ商品を優先的に購入する。	△	廃止	
製品・サービス関連	■バンボデー限定jabiaのゴールドラベル取得	* 車体製品部材のリサイクル可能率95%	取組中	継続	
	■チョコ案提出率100%の継続	* 全社員月1件以上のチョコ案の提出を継続する	○	継続	
山形EA21	■地域の環境保全	* 会社周辺の清掃活動	○	継続	

★評価のまとめ

経営と環境一体化の取組の中で、最も大きいのは残業時間の削減と電気使用量の削減が大きく貢献しました。それは、3S委員会とチョコ案活動の一環で、これまではトラックボデー1台分の部品をすべてまとめて台車に乗せて、購買部から製造工場に出庫していました。その中から必要な部品を探すのは容易ではありません。そこで製造部と連携して、当日の作業分のみを出庫するスタイルに変更したところ、多種の部品の中から探すムダが激減し、作業効率向上につながったことが大きな要因と考えられます。また、産廃業者様を見学させていただき弊社から排出される廃木材は選別後にほぼ再生されていることを確認いたしました。

★次年度への取組

取組の基本的な項目は2018年度以降も継続していきます。また、グリーン購入は現状維持継続とします。

4-1 2017年度取組状況

○ 環境教育訓練記録 (エコアクション21の教育:経営計画発表会) 平成29年1月30日



- ◆ 地球温暖化に伴い、私たちに身近におきているのが異常気象です。記録的な大雨や台風の上陸、猛暑や冬の厳しい寒さなど、このエコアクション21の取組の重要性を学びました。

内 容 : 環境方針及び目標、計画を全社員へ周知しました。

結 果 : 全社員で環境方針等を共有できました。

○ 産廃業者 (株)クリーンシステム様見学会 (廃木材処分依頼) 平成29年6月16日



- ◆ 弊社から排出される「廃木材」は重機及び手選別にて荒選別を行ったあとに破砕し、チップ等の製品に再生され、再生処理後は、「原料チップ、燃料チップ」「粉末チップ」などの再生品として利用されていました。

内 容 : 木くず回収処分を依頼している業者様へ訪問し、処分方法を確認しました。

結 果 : 産廃の適正な分別と多くの産廃はリサイクルされていることを確認しました。

○ エコドライブ研修会 平成29年10月19日 (山形県自動車公益センター様)



環境に優しい
エコドライブを
心がけます！



ふんわりアクセル～[eスタート]



・ 内 容 :

まず、これまで通りに運転して各燃費を出します。
そして、エコドライブの研修を受けた後、再度運転します。

・ 結 果 :

研修を受けた後は、ほとんどの人の燃費が向上しました。
環境にやさしい運転を身につけることができました。

○ 緊急事態発生への訓練記録 (火災発生) 平成29年11月15日



内 容 : 全社員に対し、小型工場より火災発生を想定し、早期避難、初期消火活動を訓練を行いました。

結 果 : 避難経路の確認及び人員点呼や消火器の使用方法を再確認し緊急事態に備えました。

5.環境関連法規等の遵守状況、苦情訴訟等の有無

5-1. 該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規が適用されますが、2017年2月1日付でその遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

- 廃棄物処理法 ■自動車リサイクル法 ■フロン回収破壊法 ■家電リサイクル法
- 大気汚染防止法(VOC関係) ■悪臭防止法 ■PRTR法
- 水質汚濁防止法(油水分離層) ■浄化槽法
- 騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
- 消防法並びに山形市火災予防条例 ■高圧ガス保安法 ■労働安全衛生法(有機則)

5-2. 苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来、ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

5.代表者による見直しの結果

2017年度は、「環境保全推進賞山形県知事賞」を受賞でき大変光栄に思います。この受賞は、全員参加の「チョコ案制度」・「3S活動」が「エコアクション21」の取組と一体化して環境経営を全社員で実践したことが評価を得たと考えます。なかでも、電気使用による二酸化炭素排出量は取組始めてから2015年のピーク時と比べ2017年度は約24%削減できたことは大きな成果といえます。これは工場照明のLED化、チョコ案による改善提案や3S活動で作業効率の向上による残業時間の削減が大きく貢献していると考えます。また、年2回の会社周辺清掃活動を7年間行い、今後も地域の皆様のお役に立てるよう、全社員で取り組みます。

また、次期は、今年度より取組はじめた化学物質使用量削減として有機系の塗料などに対して社員の健康・安全に配慮した作業環境の整備を図る一方、環境に対する負荷軽減策として有機則、特化則に対応する製品への切り替えを継続し、唯一未達成となっている化石燃料による二酸化炭素排出量の削減、特に車体塗装の乾燥に使用する灯油使用量の削減に向けて努めます。

さらには、チョコ案の1人1件以上提出100%達成の記録更新を目指すと共に、環境問題にも積極的に取組み環境負荷を低減させるよう社会的責務を果たして参ります。



この環境レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡ください。

また、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越25番地
株式会社 いそのボデー
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681